

2-3 計画のフレーム

人口

ここでは、緑の基本計画の基礎条件となる計画対象区域、将来人口の見通し、市街化区域の規模及び住区の構成について述べる。

1) 計画対象区域

計画対象区域については、現在の都市計画区域を対象とする。

計画対象区域	計画対象区域内市町村名
鎌倉都市計画区域	鎌倉市の全域 (3,953ha)

2) 都市計画区域内人口の見通し

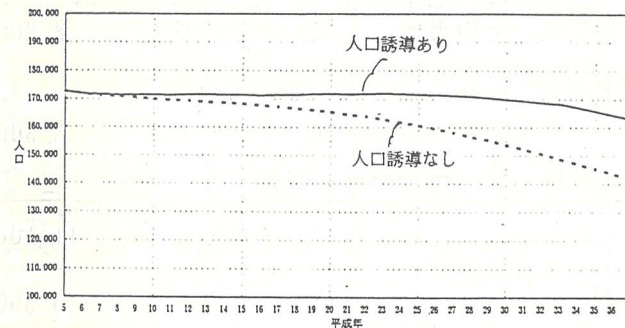
鎌倉市の将来人口については、第3次鎌倉市総合計画基本構想での推計値を用いて、目標年次の計画人口を次のように設定する。

表2-1 都市計画区域内人口の見通し

年次	現況 (1995年)	5年後 (2000年)	中間年次 (2005年)	目標年次 (2015年)
人口	170,319 人	171,000 人	171,000 人	171,000 人

注) 将来人口は千人単位とする。

図2-2 鎌倉市の将来人口推計



第3次鎌倉市総合計画策定関係付属資料

3) 市街化区域の規模

市街化区域の規模については、上記の計画人口に合わせて5年後に1haの拡大を図ることとし、その後は目標年次まで市街化区域の規模を維持するものとする。

表2-2 市街化区域の規模

年次	現況 (1995年)	5年後 (2000年)	中間年次 (2005年)	目標年次 (2015年)
市域人口	170,319 人	171,000 人	171,000 人	171,000 人
市街化区域人口	167,000	168,000	168,000	168,000
市街化区域面積	2,571 ha	2,572 ha	2,572 ha	2,572 ha
市街化区域の人口密度	65.0人/ha	65.3人/ha	65.3人/ha	65.3人/ha

注) ・将来人口は千人単位とする。

4) 地区の構成

地区の構成については、都市計画基礎調査における地域区分を基本として、地区人口約1万人を目安に次の18の地区を設定する。(図2-3 地区構成図 参照)

表2-3 地区の構成と計画人口

番号	名称	計画人口	対象地	番号	名称	計画人口	対象地
1	鎌倉東	8,900人	十二所、浄明寺、二階堂	10	深沢丘陵-1	12,200人	梶原、寺分、山崎の一部
2	鎌倉中央	10,700	西御門、雪ノ下、扇ガ谷、小町、御成町、佐助	11	深沢丘陵-2	7,800	常盤、鎌倉山、笛田の一部
3	鎌倉南-1	11,900	大町、材木座	12	北鎌倉	5,800	山ノ内、台(未)
4	鎌倉南-2	11,900	由比ガ谷、笹目町、長谷、坂ノ下、極楽寺	13	大船市街-1	9,500	台、小袋谷
5	七里ガ浜	9,400	稲村ヶ崎、七里ガ浜東、七里ガ浜	14	大船市街-2	9,500	大船、岩瀬一丁目
6	腰越-1	9,000	腰越、津西	15	大船丘陵-1	8,200	大船(未)、岩瀬(未)、高野
7	腰越-2	10,700	腰越・津、西鎌倉	16	大船丘陵-2	8,300	今泉、今泉台
8	深沢市街-1	10,500	梶原(未)、手広、笛田の一部	17	玉縄-1	11,100	岡本、玉縄
9	深沢市街-2	4,800	寺分(未)、上町屋、山崎の一部	18	玉縄-2	10,800	植木、城廻、関谷
				計		171,000	

注) ・対象地は都市計画基礎調査における中ゾーン区分を示す。

図 2-2 地区設定図

